

第2日目：2024年5月12日（日）

09:30–11:50 個人研究発表（*対面方式）

11:50–13:00 昼休憩

13:00–16:10 企画セッション／個人研究発表（*対面方式）

*氏名の右側の（ ）内は所属、Jは大学院生を示す。

【企画セッション】

セッション 1-1 (13:00–14:30)

13:00–14:30（場所：5号館511教室）

“Social Change in the Arab states of the Gulf: New Manifestations, Evolving Dynamics”

Chair: Shuji Hosaka (JIME center, President of JAMES)

Presenter:

Namie Tsujigami (Sophia University), “Adjusting and Adapting to Changes: Changed Lifestyles of Saudi Women”

Sean Foley (Middle Tennessee State University), “Vision 2030 and the Saudi Film Industry”

Matthew Gray (Waseda University), “The Potential for Perfumery Research on the Arab Gulf States”

コメンテーター：なし

セッション 1-2 (13:00–14:30)

13:00–14:30（場所：5号館512教室）

「『スーフィー的なるもの』を問う」

司会：澤井真（天理大学）

発表者：

澤井真（天理大学）「『スーフィー的なるもの』とは何か」

近藤文哉（上智大学）「『スーフィー的なるもの』の分析道具としての言説的伝統」

丸山大介（防衛大学校）「『スーフィー的なるもの』はいかに構築されるのか？：スーフィズム・イスラーム主義・サラフィー主義の三者関係に着目して」

高橋圭（東洋大学）「スーフィズムからイフサーンへ：アメリカのムスリム社会における『スーフィー的なるもの』」

コメンテーター：なし

セッション 1-3 (13:00–14:30)

13:00–14:30（場所：5号館523教室）

「アラブ世界の非国家主体による疑似国家統治」

司会：青山弘之（東京外国語大学）

発表者：

青山弘之（東京外国語大学）「国家を志向しない統治主体：シリア北西部と北東部の統治の実態」

山岡陽輝（慶應義塾大学 J）「シリアにおける解放党の活動：非国家主体間の関係性を中心に」

小林周（日本エネルギー経済研究所）「リビアにおける「非統治空間」の発生と非国家主体の活動」

コメンテーター：なし

セッション 1-4 (13:00-14:30)

13:00-14:30（場所：5号館 524 教室）

「デジタル化時代におけるオーラル文化の新発見とその形態：西アジア・イスラーム圏の共時的比較」

司会：中村菜穂（大阪大学）

発表者：

竹田敏之（立命館大学）「アラブ詩の伝統と革新：湾岸諸国におけるオーラル文化の再興」

千葉悠志（公立小松大学）「娯楽、政治、伝統文化：現代のアラビア語の詩番組での邂逅」

ダヌシュマン・イドリス（立命館大学）「宗教詩と音楽の融合：現代トルコにおけるイスラーム聖歌（ilâhî）の復興をめぐる一考察」

須永恵美子（東京大学）「Zoom を利用した双方向型オンライン詩会の台頭と詩人・聴衆関係の変化」

コメンテーター：黒田彩加（立命館大学）

セッション 2-1 (14:40-16:10)

14:40-16:10（場所：5号館 523 教室）

「イエメン内戦と中東地域秩序：『国際化した内戦』は何を変えたか」

司会：大坪玲子（東京外国語大学）

発表者：

吉田智聡（防衛省防衛研究所）「フーシー派の政治・軍事能力とその限界」

近藤重人（日本エネルギー経済研究所）「サウディアラビアの対イエメン政策の変化と展望」

佐藤佳奈（日本エネルギー経済研究所）「アラブ首長国連邦（UAE）のイエメン内戦への関与と思惑」

コメンテーター：千坂知世（名古屋商科大学）

セッション 2-2 (14:40-16:10)

14:40-16:10 (場所：5号館 524 教室)

「アラビア語学習とアイデンティティ」

司会：山本薫 (慶應義塾大学)

発表者：

大隼エヴァ・ハッサン (慶應義塾大学) 「複層的なアイデンティティ：アラビア語圏における「アラブ」認識」

ヌール・ムフリホ (慶應義塾大学 J) “Cultural Activities in Second Language Classrooms for Developing the Linguistic Competence”

山本薫 (慶應義塾大学) 「在日アラブ人子弟を対象としたアラビア語教育の現状と展望」

コメンテーター：鷲見朗子 (京都ノートルダム女子大学)

【個人研究発表】

第一部会 (場所：5号館 511 教室)

司会：辻上奈美江 (上智大学)

1-1) 09:30-10:10 Noor J. E. Abushammalah (Kyushu University, J), “The Privileged Diaspora and their Struggle for Freedom from Without”

1-2) 10:20-11:00 中西萌 (京都大学 J) 「不確実性が生み出すシリア難民の経済的生存戦略：日本を事例として」

1-3) 11:10-11:50 鈴木慶孝 (日本学術振興会) 「トルコの多文化共生の実現に向けた課題：移民・難民・マイノリティの包摂を焦点にして」

司会：野口舞子 (信州大学)

1-6) 14:40-15:20 シェッターデイ アキル (慶應義塾大学) 「モロッコ大震災被害に伴う居住地の復興と再建築の課題」 *オンライン発表 (会場配信)

第二部会 (場所：5号館 512 教室)

司会：菊地達也 (東京大学)

2-1) 09:30-10:10 藤本あずさ (京都大学 J) 「個人型スーフイズムとスピリチュアリティ：トルコ都市部の若年層を対象として」

2-2) 10:20-11:00 棚橋由賀里 (京都大学 J) 「15-16 世紀モロッコのスーフイーによる社会改革：タリーカ・ジャズーリーヤを中心に」

2-3) 11:10-11:50 東長靖 (京都大学) 「存在一性論の 7 次元説」

司会： 守田まどか（東京外国語大学）

- 2-6) 14:40-15:20 小野仁美（東京大学）「両性具有者をめぐるイスラーム法学説の形成：ハナフィー派とシャーフイイー派の比較検討」
- 2-7) 15:30-16:10 水谷周（日本ムスリム協会）、前野直樹（日本ムスリム協会）「イスラームにおける直観」

第三部会（場所：5号館513教室）

司会： 黛秋津（東京大学）

- 3-1) 09:30-10:10 竹村和朗（高千穂大学）「エジプトの家族と刑法：婚姻の動産の不正浪費の罪に注目して」
- 3-2) 10:20-11:00 田辺清鼓（京都大学 J）「持続可能な生活基盤を探る：トルコの乾燥農地における水資源管理と女性たちの親密なつながりに関する研究」
- 3-3) 11:10-11:50 後藤絵美（東京外国語大学）「イスラームにおける男女平等論の展開：国際規範をめぐるムサーワーの思想と戦略」

司会： 村山木乃実（日本学術振興会）

- 3-4) 13:00-13:40 鎌田由美子（慶應義塾大学）「イスラーム美術と近代日本：明治期以降の画家とコレクターをめぐって」
- 3-5) 13:50-14:30 小島宏（早稲田大学）「コロナ禍中の英国ムスリムの宗教行動変化と健康」
- 3-6) 14:40-15:20 ソホラブ アフマディヤーン（筑波大学 J）「在日クルド人のディアスポラ体験に関する質的研究」(仮題)

第四部会（場所：5号館514教室）

司会： 保井啓志（筑波大学）

- 4-1) 09:30-10:10 野中葉（慶應義塾大学）「日本の若者世代のイスラーム教徒：『ヤングムスリム』とその活動に焦点をあてて」
- 4-2) 10:20-11:00 堀抜功二（日本エネルギー経済研究所）「日本における『ドバイ』イメージの形成と流通」
- 4-3) 11:10-11:50 Nicholas Mangialardi (Williams College), “‘Nile Samurai’: Ragai Wanis and Egypt’s Global 1960s”

司会： 秋葉淳（東京大学）

- 4-4) 13:00-13:40 森才人（早稲田大学 J）「城塞のなかの都市社会：オスマン朝支配初期カイロにおける軍人層の生活圏（1517-1538）」

- 4-5) 13:50-14:30 澤裕章 (東京大学 J) 「アラビア医学のペルシア語文化圏における受容と発展：『ホラズムシャーの貯蔵庫』にみる『医学典範』の薬学的影響」
- 4-6) 14:40-15:20 倉野靖之 (中央大学 J) 「英国統治期パレスチナにおけるアラブ人の政治活動と英国の治安維持政策」
- 4-7) 15:30-16:10 Nami Murata (Tokyo University of Foreign Studies, J), “Dress in National Uniform: the Ottoman Empire’s Adoption of the Wilsonian Principles”

第五部会 (場所：5号館 521 教室)

司会：鶴見太郎 (東京大学)

- 5-1) 09:30-10:10 岡部友樹 (大阪経済法科大学) 「武装組織から政治政党へ：内戦からポスト内戦期レバノンにおける政党の変化」
- 5-2) 10:20-11:00 Alaa Elsharqawy (Cairo University, J), “Japan and the Egyptian/Israeli conflict until 1970”
- 5-3) 11:10-11:50 渡邊文佳 (早稲田大学 J) 「『アラブの声』で語るモロッコ人活動家：1953-55年のラジオ・カイロとモロッコ独立運動」

司会：柳沢崇文 (日本エネルギー経済研究所)

- 5-4) 13:00-13:40 上山一 (釧路公立大学) 「イスラム銀行利用者の購買意思に影響を与える宗教性に関する実証研究：ヨルダンでの聞き取り調査から」
- 5-5) 13:50-14:30 武石礼司 (東京国際大学) 「中長期経済予測およびシナリオと中東・北アフリカ諸国の政策選択」
- 5-6) 14:40-15:20 上野祥 (創価大学) 「スィーサー政権下エジプトの C 型肝炎撲滅政策」
- 5-7) 15:30-16:10 小山友 (千葉大学 J) 「オランダの右派ポピュリズム政党『民主主義フォーラム』におけるムスリム有権者の政治的代表としての可能性の検討」

第六部会 (場所：5号館 522 教室)

司会：渡邊祥子 (東京大学)

- 6-1) 09:30-10:10 松田和憲 (京都大学) 「反過激主義と反テロのファトワー：『パキスタン・メッセージ』に着目して」
- 6-2) 10:20-11:00 米田優作 (立命館大学 J) 「現代エジプトにおけるサラフィー主義者のジハード観：ダアワ・サラフィーヤの生存戦略に着目して」
- 6-3) 11:10-11:50 中村覚 (神戸大学) 「サウディアラビアの修正ワッハーブ主義への変容：全方位均衡論による説明」

司会：徳永佳晃 (東京大学)

- 6-4) 13:00-13:40 阿部達也 (上智大学 J) 「北クルディスタンにおけるマドラサ教育活動と

クルド人の学問教育伝統」

- 6-5) 13:50-14:30 松永泰行 (東京外国語大学) 「スーフィー・タリーカとイスラーム覚醒・復興：ヘウラマーン／オウラマーナート (クルディスタン) の事例」
- 6-6) 14:40-15:20 岡野内正 (法政大学) 「パレスチナ問題と中東および人類社会の未来：獄中のアブドゥッラー・オジャランのクルド問題解決見通しに照らして」

第七部会 (場所：5号館 523 教室)

司会：渡邊駿 (日本エネルギー経済研究所)

- 7-1) 09:30-10:10 松尾昌樹 (宇都宮大学) 「政治的『石油の呪い』は中東に存在するか：地域間比較と時間に焦点をあてる分析手法の提案」
- 7-2) 10:20-11:00 足立真理 (日本学術振興会) 「インドネシアにおけるザカートに関する Twitter (現 X) 分析：オンライン空間での敬虔さに着目して」
- 7-3) 11:10-11:50 酒井啓子 (千葉大学) 「地域研究と国際関係論の融合を目指す：中東地域研究からの射程」

第八部会 (場所：5号館 524 教室)

司会：濱田聖子 (東京大学)

- 8-1) 09:30-10:10 村上武則 (東京外国語大学) 「南部クルド諸語の現在とその位置付け」
- 8-2) 10:20-11:00 榮谷温子 (慶應義塾大学) 「クルアーンにおける修辞疑問文：特に hal 疑問文を中心として」
- 8-3) 11:10-11:50 田中悠子 (日本学術振興会) 「イスラーム初期における「論駁」関係の分析」

2024年3月15日時点
(以上)